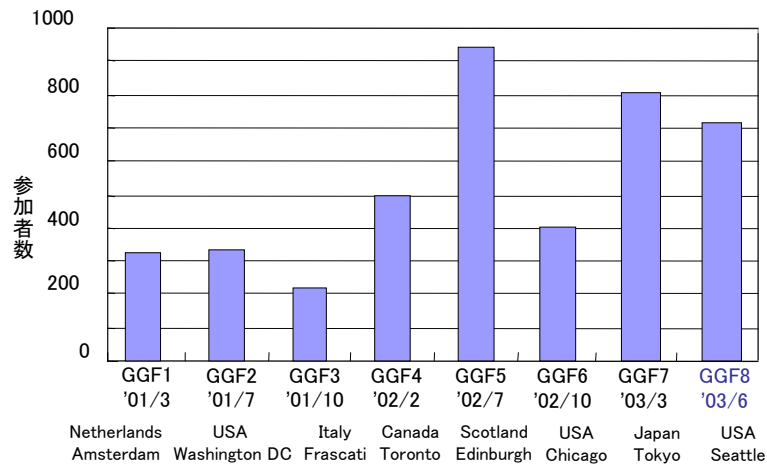


GGF8: 24-27 June, 2003 シアトル

- 参加者: 700人以上



GGF8: 日本からの参加者

最終データは得られていないので、正確ではありません。

- 日本人全参加者約40名
 - 企業約15名
 - 大学10+名
 - 研究所10+名

GGF8 Websiteに507名掲載
実際は700名程度



WG/RG/BOF

- 50+ WG/RG sessions(66sessions)
- 10 BOFs
- 日本からの提案
 - GridRPC-WG: WGとして承認、GGF8から活動
 - 中田(産総研、東工大)
 - GridFilesystem-RG: GGF8にてBOF開催
 - 建部(産総研)
- 日本からの(co-)chair
 - OGSA-WG: 岸本(富士通)、荒木(NEC)
 - CMM-WG: マシエル(日立)



GGF documentations

- DRMAA、OGSIの仕様書1.0が60日間の公開プロセスを経てfinal editorial reviewへ
 - Distributed Resource Management Application API (DRMAA) 1.0
 - Open Grid Services Infrastructure (OGSI) 1.0
- GridFTP, UR(Usage Record)のドキュメントがGFSGでレビュー中



報告者：伊藤 智 (産総研)

グループ	GGF Market Awareness Committee (GMAC) BOF
目的	GGFで策定されたドキュメントなどを含め市場への認知を進める委員会。1)Awareness (グリッドのアプリや技術の認識を築く), 2)Adoption (GGF仕様の採用をプロモート), 3)Participation (GGFを成功に導く多くの専門家を取り込む)
状況	今年の1月に GMAC が組織され、そのメンバーを中心とした活動が始まった。BOFの2日前にはGMAC Leadership Councilが開かれ、BOFに向けたアジェンダや活動内容の議論が行われた。Ian Baird (Platform Computing), Miriam Vializ-Briggs (IBM), の他 HP, など企業のマーケティング部門や研究所のプロジェクトリーダーレベルが顔を揃えている。
進捗	2003年度の具体的な活動として、4つのタスクフォースを立ち上げ、ボランティアを募った。 Task Force #1 - Develop "Grid Glossary" Task Force #2 - Create structure/plan/foundation for global grid projects repository Task Force #3 - Collect/compile list of "Top 10 Y2003 Grid Applications" Task Force #4 - Host "HotGrid Contest"
今後	今年度は各タスクフォース毎にMLを中心の活動 GGF9には、Awareness としてのドキュメントを提出する予定
参加者数	40名程度 (産総研:関口、伊藤が Council に参加)
所感	ベンダー側だけではなく、Johnson & Johnsonなどユーザー企業からの参加もあり、今後の活動が期待される。GMACの日本へ向けた活動は協議会が中心となるのが良いと思う。

第8回調査会議題

★全体概要 (産総研・伊藤) 10分

★前半 14:10-15:00

・セキュリティ関係 (NEC・蒲池) 10分

・BOF:Grid Filesystem (産総研・建部) 10分

・DRMAA-WG (東工大・濱野) 10分

・派遣者報告

ー日立東日本ソリューションズ・武宮 10分

ーグリッド総合研究所・スタビングズ 10分

★休憩 20分

★後半 15:20-16:20

・DAIS-WG (産総研・小島) 10分

・OGSA-WG (富士通・岸本) 10分

・OGSI-WG (産総研/東工大・中田) 10分

・CMM-WG (日立・安崎) 10分

・討論 20分